



配管放熱エネルギーロスを防ぐことによるCO₂削減

工場内の配管には、放熱エネルギーロスを防ぐため保温施工がされています。しかし、複雑な形状の制御弁やバルブには、保温施工の手間や定期メンテナンスのために保温施工されていない箇所が意外に多く存在します。このような「配管機器の未保温箇所」はワイズジャケットを装着することにより現状設備でのCO₂削減を実現することが可能です。

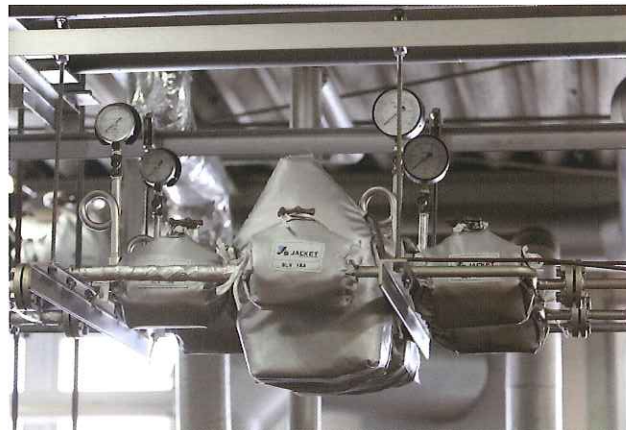
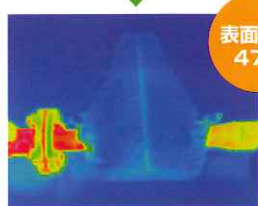
■ワイズジャケットソリューション事例

主配管・枝管は保温済、蒸気使用量60,000t/年の飲料メーカー様C工場にて、制御弁やバルブなどの配管機器のみの保温診断を実施したところ、削減蒸気量、効果金額、CO₂削減量が下記のような結果となりました。

適 要	削減蒸気量 (kg/年)	年間節減効果金額 (円/年)	年間CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂ /年)
A エ リ ア	334,039	1,169,136	35,346
B エ リ ア	428,559	1,499,957	45,032
C エ リ ア	384,666	1,346,330	40,405
D エ リ ア	634,188	2,219,656	66,216
E エ リ ア	433,476	1,517,166	45,278
合 計	2,214,927	7,752,245	232,276

※工場稼働365日24時間、蒸気単価3,500円/t、使用燃料都市ガス(13A)

診断箇所を全て保温したことで、蒸気使用量60,000t/年に対して約2,215t/年の蒸気の削減と、約3.7%のエネルギーロス削減、CO₂削減となりました。



■改善実施

提案した箇所への保温カバー設置を実施【設置保温カバー:ワイズジャケット】

投資額
9,000,000円
(工事費込み)

エネルギーロス
CO₂排出量の発生を抑える

効果金額 年間7,750,000円

投資回収 1.20年(15ヶ月)

ワイズジャケットラインナップは裏面をご覧ください

ワイズジャケット ラインナップ

W's JACKET™

■減圧弁用



■ストレーナ用



■ドレンセパレーター用



■単管タイプ



■エルボタイプ



■チーズタイプ



省エネルギー

放熱によるエネルギーロスを防ぐだけでなく、室内温度の上昇を防ぎますので空調機の稼働率を抑えます。

CO₂削減

地球規模の目標であるCO₂削減を現実化します。

安全性

ヤケド・衝突による事故を防ぎ、安全で快適な作業環境に貢献します。

環境性

誰でも簡単に取付け可能なので、メンテナンス後も繰り返し使用できます。廃材が出ないため環境にやさしいです。

■導入効果

減圧弁	GP-2000 50A	削減熱量	約 79,594 MJ/年
ストレーナ	SY-40 50A	CO ₂ 削減量	約 4,231kg-CO ₂ /年
ドレンセパレーター	DS-1 50A	効果金額	約 152,024円/年

※蒸気圧力1MPa、24時間/日、365日/年稼働、使用燃料A重油、蒸気単価5円/kgの場合